

第 718 回 例 会

29年4月28日

本日のプログラム

- ・ソング 「われら日本ロータリアンの歌」
- ・卓話 クラブフォーラム
 青少年奉仕ご担当 林 裕之 会員
 社会奉仕ご担当 花谷 尚嗣 会員
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」

次回(5月12日)のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 鈴木 正明 会員
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」
- ・第11回理事会 & 次年度準備理事会 13:40～ 4階「桃山の間」

◎ 5月5日(金・祝)は休会です

◎ 5月からビアガーデン開催の為、例会場は3階「飛鳥の間」です

5月の例会予定

- ◎5日 休会(祝日)
- ◎12日 卓話 鈴木会員
- ◎19日 卓話 河田会員
- ◎26日 クラブフォーラム(委員会引継ぎ)

先週(4月21日)の例会報告

■会長の時間

皆さんこんにちは。まだ台北ツアーの余韻が残っていてバタバタしていますが、そんななか昨日は当クラブ公式のゴルフコンパが開催されました。好天のなか芦屋カンツリークラブで11名の参加のもと、みごとに和氣会員が優勝されました。おめでとうございます。ゴルフの後も私は行けなかったのですが、川上会員のお世話で「芦屋奥池の「サロンドキュイジーヌ千暮里」で美味しい料理とワインに舌鼓をうたれたと思います。一日お疲れ様でした。そして今回初めての企画としてロータリーXmasの費用補填としてチャリティを実施しました。これからはいろいろな機会にチャリティを行いたいと思いますので、皆さまご協力よろしくお願いします。それから先週紹介し忘れましたが、台北ツアーの直前には家族例会として天満橋八軒屋浜からの「大川さくらクルーズ」も開催していただきました。残念ながら小雨模様でしたが丁度 桜の見頃で大変楽しい宴席でした。それぞれ企画いただいた幹事の方々にお礼申し上げます。

先ほどのチャリティと関連する話ですが、先週の理事会で会計の榎本会員から「今年は赤字になりそう」との報告を受けました。急ぎよ北阪さんに今年度の最終見込みと昨年との比較をまとめていただいたところ、各項目とも予算とは大きくはかい離していませんが、50万の繰越金を使ったうえで最終10万程度の赤字となる見込みであることがわかりました。トータル単年度では60万ほどの赤字ということになります。収支トントンだった昨年度と比較してみると、ちょうど同じ額だけロータリーXmasの出費が増えていますので、ここを何とかしないと赤字体質が続くということになります。今年は地区からの補助金がありませんでしたので、まず毎年補助金を獲得することが必須でそうすると赤字は半分程度となります。残りは膨らみ続けるXmas費用を何とか抑えるか、あるいはクラブ全体の活動費用を切り詰めるということが必要となります。今後真剣に検討していきたいと思いますのでご協力よろしくお願いします。

【来客紹介】 1名

【出席報告】

29年4月21日(第717回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
35名	1名	18名	16名	52.94%

【幹事報告】

[メールBOXに配布]

1) 第10回理事会・次年度第1回準備理事会 報告

[メール送信]

1) 大輪ゴルフ会予告のご案内 ⇒ 4/20 配信

ニコニコ箱(4月21日)

秋山 千尋 = 皆川さんの自己紹介、楽しみにしています。

中根三恵子 = 皆川さん、自己紹介 頑張ってください! 娘さん めちゃめちゃ可愛かったですね♡

大屋 準一 = SAAの榎本さんに呼び止められました。皆川さん、初めての卓話、楽しみにしています。

鈴木 正明 =あたたかくなりました。

高野 幸雄 =和氣さん、クラブコンペの優勝おめでとうございます。皆川さん、卓話がんばって下さい。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 5000円	今年度合計 3919471円
---------	-------	-----------	----------------

卓話(4月21日)

「自己紹介」 皆川 祐一 会員

皆川祐一といいます。昭和47年(1972年)2月13日に京都市で産声を上げました。当時、実家は、京都地方裁判所の東隣、京都御所の南側に面する丸太町通とその南側の竹屋町通との間の場所にありました。その場所で幼少期を過ごすのですが、京都市内中心部で庭付きの家はめずらしく、実家にももちろん庭がなかったため、京都御所の庭が自分の庭みたいなもので、休日の朝などは自分の庭をよく散歩しておりました。その影響でまるで公家のようなとても上品な私に成長したのではないかと考えております。また、京都地裁の駐車場が遊び場として、その影響で法律に関する職に就いているのではないのでしょうか。関係ないですよ(笑)しかし、三つ子の魂百までという言葉がありますように、幼少期の環境や教育が人格を形成するうえで重要とされています。一説によりますと、人の「性格というのは脳の脳辺縁系と呼ばれる部分が生後の体験に基づき学習し、作り上げると考えられています。もちろんこの脳辺縁系は大きくなってからでも自身の体験に影響を受けるため、大きな出来事に遭遇するなどといった経験があれば性格が変わることもあるでしょう。事実、心理学においても幼少期以外でも性格は変わると考えられています。しかし、性格を変えてしまうほどの大きな出来事なんてそんな簡単に起きることはありません。従って3歳までに身につけた性格は良い物であれ、悪いものであれ、その後10年をかけても簡単に変えることはできないと言われています」。

(出典:<http://幼児教室ナビ.com/individuality/>)

話が少し脱線しました。

小学生のとき、京都市内から京田辺市(当時は田辺町)に引っ越します。小学生時代は、高学年で私立中学校の受験に向けて勉強したことを覚えています。なぜ中学受験をすることになったのか、後から考えるとよくわかりません(笑)

そして、中学・高校一貫教育の学校に入学するのですが、6年間遊びまくりました。中2で麻雀を覚え、…。そのツケが大学入試の結果に表れます。見事にすべて不合格。勉強してなかったのだから仕方ないと開き直り、自動車運転免許を取得するために教習所に通い、受験勉強を再開したのが6月くらいからでした。

なんとか関西大学に合格しましたが、入学するとこれまた勉強なんて、ですよ。当時はバブル全盛期で関関同立を卒業していればまあ名の知られた企業に就職できるって風潮でしたから。ところが、2、3回生の頃にバブルがはじけてしまい、就職難に。成績上位なら推薦枠で一流企業に就職できたのですが、勉強してなかったので成績は悪いので推薦などしてもらえないなんてとんでもない。ある日、どうしようかな、なんて考えつつ大学の階段を降りたとき、目に飛び込んだのが「弁理士試験研究会」の案内ポスター。「弁理士」って資格をそれで知りました。弁理士について少し調べると、どうやら高収入が得られるみたいなので、教授に相談すると、教え子が形成している特許事務所を教授に紹介してもらえることになり、その特許事務所に就職しました。そこから弁理士を目指すことに。

このような生い立ちから、追い込まれないと動かない、動くところ程度の結果を出すことができると思いますか、結果がついてくる強運の持ち主と自分では思っています(笑)

大阪ユニバーサルシティRC URL:<http://www.osaka-ucrc.org/> E-mail:ucrc@osaka-ucrc.org 創立:2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL:070-5020-6459

会長:斎藤清貴 幹事:三宅一郎 会報担当:大橋高志 例会:毎週 月曜日12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか